

NYマーケットレポート (2016年12月6日)

NY市場では、序盤に発表された米貿易収支で、赤字額が市場予想より増加したものの、その後に発表された米耐久財受注や、景気楽観指数が予想を上回る結果となったことから、ドルは小動きながら堅調な動きとなった。ただ、米雇用統計やイタリア国民投票の影響が一服したことや、来週のFOMCを控えてブラックアウト期間に入ったこともあり、ドルは限定的な動きとなった。一方、ユーロは、ECB理事会を8日に控えて、イタリアの政局不安などを背景に、資産購入の縮小に関する思惑などから、様子見ムードが強まり、限定的な動きとなった。また、英ポンドは、EU離脱プロセス開始について議会に決定権があるとの判断を最高裁が下すとの期待感を背景に、欧州タイムには対ドルで一時2ヵ月ぶりの高値を付けたが、米国市場では反落するなど、上値の重い動きとなった。

2016年12月6日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.85	114.17	113.51
EUR/JPY	122.52	122.65	122.12
GBP/JPY	145.20	145.63	144.51
AUD/JPY	84.77	85.18	84.58
EUR/USD	1.0762	1.0770	1.0737

LONDON	高値	安値
USD/JPY	114.19	113.68
EUR/JPY	122.94	122.18
GBP/JPY	145.64	144.85
AUD/JPY	84.98	84.62
EUR/USD	1.0786	1.0730

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	114.04	114.13	113.74
EUR/JPY	122.23	122.40	121.94
GBP/JPY	144.54	145.48	144.18
AUD/JPY	85.07	85.10	84.82
NZD/JPY	81.18	81.23	80.99
EUR/USD	1.0720	1.0750	1.0699
AUD/USD	0.7461	0.7465	0.7444

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19251.78	+35.54
S&P500	2212.23	+7.52
NASDAQ	5333.00	+24.11
日経225 (CME)	18410	+50
トロント総合	15125.80	+30.63
ボルサ指数	45103.22	+165.92
ボベスパ指数	61088.25	+1256.52

12/7 経済指標スケジュール

08:50	【日本】11月外貨準備高
09:30	【オーストラリア】3Q GDP
14:00	【日本】10月景気先行CI指数
14:00	【日本】10月景気一致CI指数
15:00	【南アフリカ】11月外貨準備高
16:00	【ノルウェー】10月鉱工業生産
16:00	【ノルウェー】3Q経常収支
16:00	【ドイツ】10月鉱工業生産
16:45	【フランス】10月貿易収支
16:45	【フランス】10月経常収支
17:30	【英国】11月ハリファックス住宅価格
17:30	【スウェーデン】11月財政収支
18:30	【南アフリカ】11月SACCI景況感指数
18:30	【英国】10月鉱工業生産
18:30	【英国】10月製造業生産高
19:00	【ポーランド】政策金利発表(時間不確定)
21:00	【米国】MBA住宅ローン申請指数
00:00	【カナダ】政策金利発表
00:00	【英国】11月NIESR GDP予想
00:00	【米国】10月JOLT労働調査[求人件数]
05:00	【米国】10月消費者信用残高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1170.10	-6.40
NY 原油	50.93	-0.86
CME コーン	360.50	+1.25
CBOT 大豆	1047.75	+4.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.116%	1.120%
3年債	1.392%	1.405%
5年債	1.836%	1.851%
7年債	2.183%	2.198%
10年債	2.389%	2.400%
30年債	3.076%	3.071%

ドイツ10年債	0.373%	0.333%
英国10年債	1.418%	1.403%

12/7 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米貿易収支 -426億USD (予想 -420億USD・前回 -362億USD)

前回発表の-364億USD から-362億USD に修正



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀米貿易収支▶

10月	9月	8月	7月	6月	前年同月
-426.0	-361.7	-406.4	-396.5	-447.2	-416.0
1863.6	1897.7	1879.9	1863.5	1830.0	1855.9
2289.6	2259.4	2286.3	2259.8	2277.2	2271.9

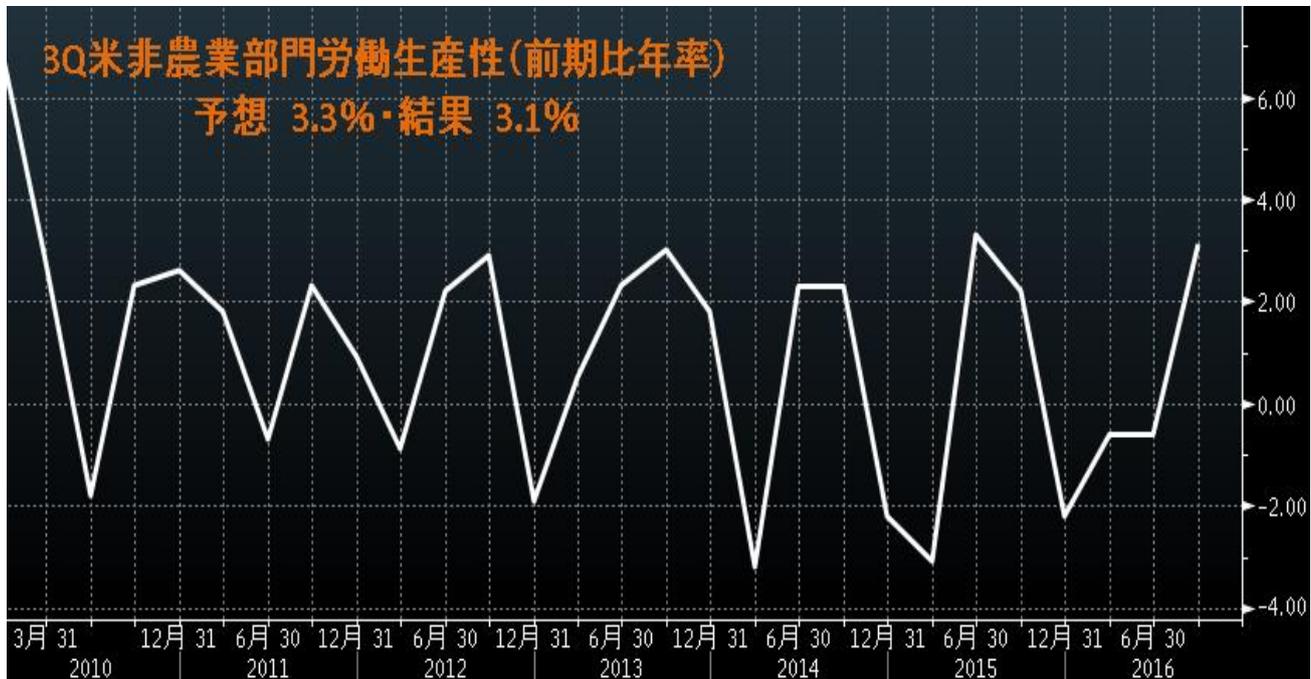
(単位 億ドル)

10月の米貿易収支では、赤字額がモノとサービスを合わせた国際収支ベースで前月比+17.8%の426億100万ドルと2ヵ月ぶりに拡大した。前月比では+32.9%の2015年3月以来の大きな拡大幅となった。輸出総額は-1.8%の1863億6100万ドルと5ヵ月ぶりの減少、輸入総額は+1.3%の2289億6200万ドルと2ヵ月ぶりのプラス。モノの貿易赤字は+11.1%の634億1200万ドル。国・地域別では、対日赤字が+22.9%の59億2900万ドル、対中赤字は-4.2%、対EU赤字は+29.2%となった。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q米非農業部門労働生産性（前期比年率） 3.1%（予想 3.3%・前回 3.1%）



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ 非農業部門労働生産性指数 ▶

	7-9 確報	7-9 速報	4-6	1-3	10-12
非農業部門労働生産性指数	3.1	3.1	-0.2	-0.6	-2.4
生産	3.6	3.4	1.6	0.7	0.8
労働総投入量	0.5	0.3	1.7	1.4	3.3
時間あたり給与	3.8	3.4	6.1	-0.9	3.1
実質給与	2.2	1.7	3.4	-0.6	2.3
単位あたり労働コスト	0.7	0.3	6.2	-0.3	5.7
単位あたり非労働コスト	1.5	2.5	-2.8	2.1	-6.2
価格指数	1.1	1.2	2.3	0.7	0.5

（前期比、年率%）

米 7-9 月期の非農業部門労働生産性の確定値は、年率換算で前期比+3.1%と速報値と同じとなり、上昇は 4 四半期ぶりとなった。生産の増加が労働時間の伸びを大幅に上回り、生産性の向上をもたらした。前年同期比は横ばいで、速報値から変わらず。賃金の指標である単位労働コストは、前期比+0.7%、速報値から 0.4 ポイントの上方修正、前年同期比では+3.0%となった。労働生産性では、前期比で生産が+3.6%、労働時間が+0.5%、時間当たりの労働報酬は名目ベースで+3.8%、物価動向を考慮した実質ベースでは+2.2%だった。製造業の生産性は、前期比+0.4%、生産が+0.6%、労働時間は+0.3%。前年同期比の生産性は横ばいとなった。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ国際商品貿易 -11.3 億 CAD（予想 -17.0 億 CAD・前回 -43.8 億 CAD）
 前回発表の-40.8 億 CAD から-43.8 億 CAD に修正



出所：Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月メキシコ消費者信頼感指数 84.4 (予想 83.5・前回 85.0)



出所：Bloomberg

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米耐久財受注(前月比) 4.6% (予想 3.4%・前回 4.8%)

10月米耐久財受注[除輸送用機器] 0.8% (予想 0.5%・前回 1.0%)



出所 : Bloomberg

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米製造業受注指数(前月比) 2.7% (予想 2.6%・前回 0.6%)

前回発表の0.3%から0.6%に修正



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ 製造業新規受注指数 ▶

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
新規受注	2.7	0.6	0.4	1.4	-1.8	-1.2
輸送機器を除く	0.8	0.6	0.3	-0.1	0.4	0.2
資本財	11.9	2.0	-0.1	10.7	-12.4	-6.0
耐久財	4.6	0.3	0.2	3.6	-4.3	-2.9
輸送機器	12.0	0.7	0.6	8.9	-11.5	-7.1
受注残	0.7	-0.2	-0.2	-0.2	-0.9	0.0

10月の米製造業受注は、前月比+2.7%の4694億1900万ドルとなり、4ヵ月連続でプラスとなった。変動の激しい輸送機器を除いた受注は+0.8%。航空機の伸びが民間、国防ともに目立ち、輸送機器の大幅増加に寄与した。自動車はマイナスに転じた。

- ①耐久財は前月比+4.6%となり、輸送機器は+12.0%と2015年10月以来の伸び、民間航空機93.8%、国防航空機が+32.5%、自動車・同部品は-0.7%だった。また電機・家電が+1.6%、一次金属が-0.1%、一般機械は横ばい、建設機械は+6.5%、鉱山・油田・ガス田関連の機械が-15.0%だった。
- ②非耐久財は+0.9%、資本財は+11.9%となり、国防関連を除く資本財が+14.4%、民間設備投資の先行指標となるコア資本財は+0.2%、国防資本財は-4.0%。

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月米 IBD/TIPP 景気楽観指数 54.8 (予想 52.0・前回 51.4)

指標結果データ

◀ IBD/TIPP 景気楽観指数 ▶

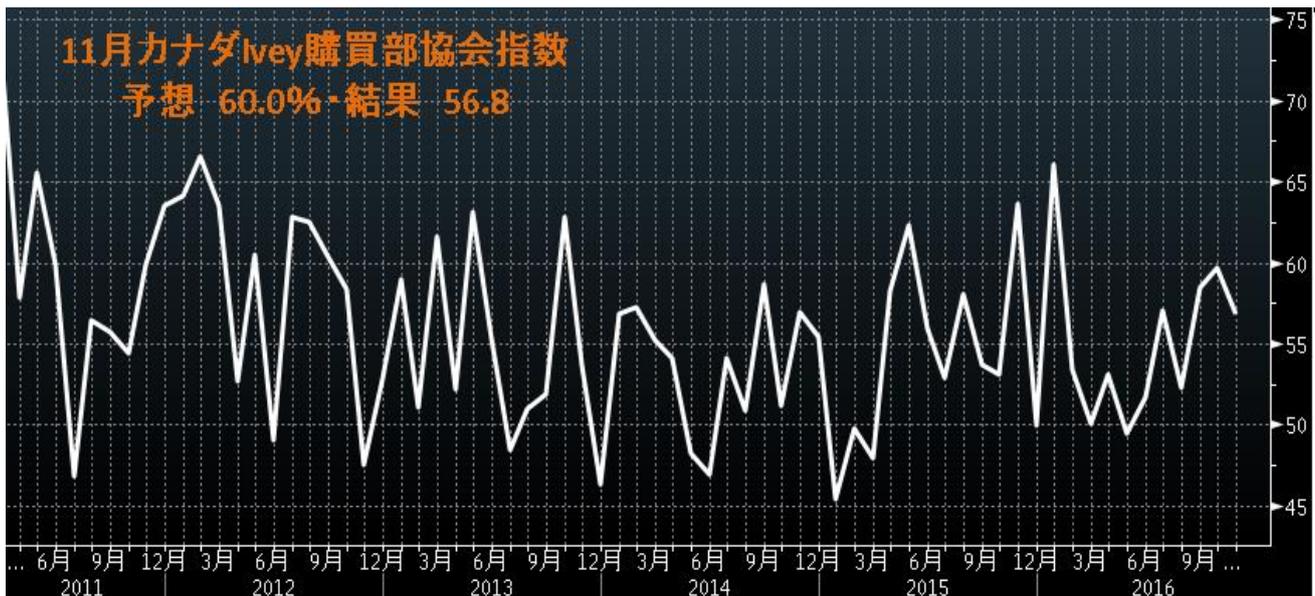
	12月	11月	10月	9月	8月	7月
景気楽観指数	54.8	51.4	51.3	46.7	48.4	45.5
半年先の景気先行	56.3	52.2	50.4	40.3	44.7	36.7
資金繰り見通し	59.8	58.9	59.9	58.6	58.0	57.2
政府の政策信頼度	48.3	43.1	43.5	41.2	42.5	42.7

12月の米 IBD/TIPP 景気楽観指数は、前月から3.4ポイント上昇の54.8となり、2006年11月以来10年1ヵ月ぶりの高水準となった。そして、節目の50を3ヵ月連続で上回った。構成指数の向こう半年の景気は56.3(前月52.2)、資金繰り見通しは59.8(58.9)、連邦政府の政策信頼度は48.3(43.1)といずれも前月を上回った。IBD/TIPP 指数は、ミシガン大やコンファレンスボードの消費者信頼感指数の先行指標として注目される。50を上回ると楽観的と判断する。

0:00

◀ 経済指標の結果 ▶

11月カナダ Ivey 購買部協会指数 56.8 (予想 60.0・前回 59.7)



出所：Bloomberg

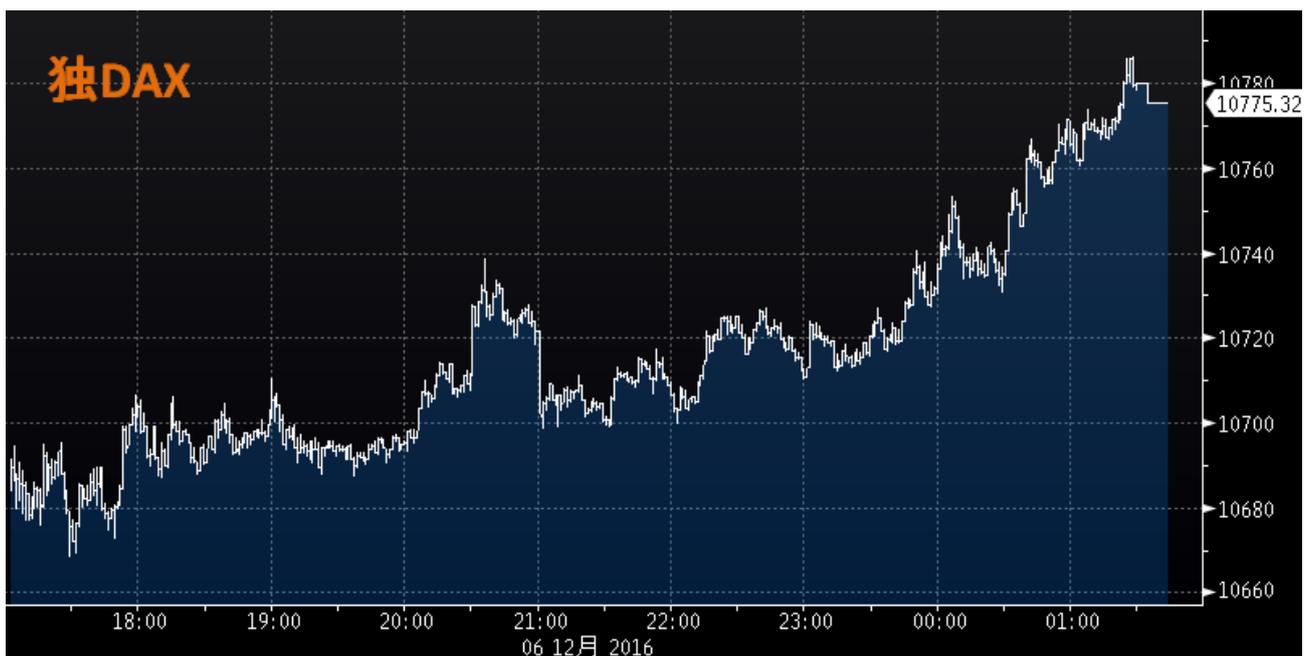
◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、新規の手掛かり材料が乏しい中、ECB 理事会を前に積極的な取引が手控えられ、小幅な値動きとなった。10月の貿易収支や7-9月期の労働生産性などの米経済指標はまちまちの内容だったことから、反応は限定的だった。

午前の利回りは、30年債が3.07%（前日3.07%）、10年債が2.39%（2.40%）、7年債が2.18%（2.20%）、5年債が1.84%（1.85%）、3年債が1.40%（1.41%）、2年債が1.12%（1.12%）。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、ECB が理事会で追加金融緩和を決定するとの期待で買いが広がった。ただ、英 FT100 指数は資源株が売られことで、上値は限定的となった。

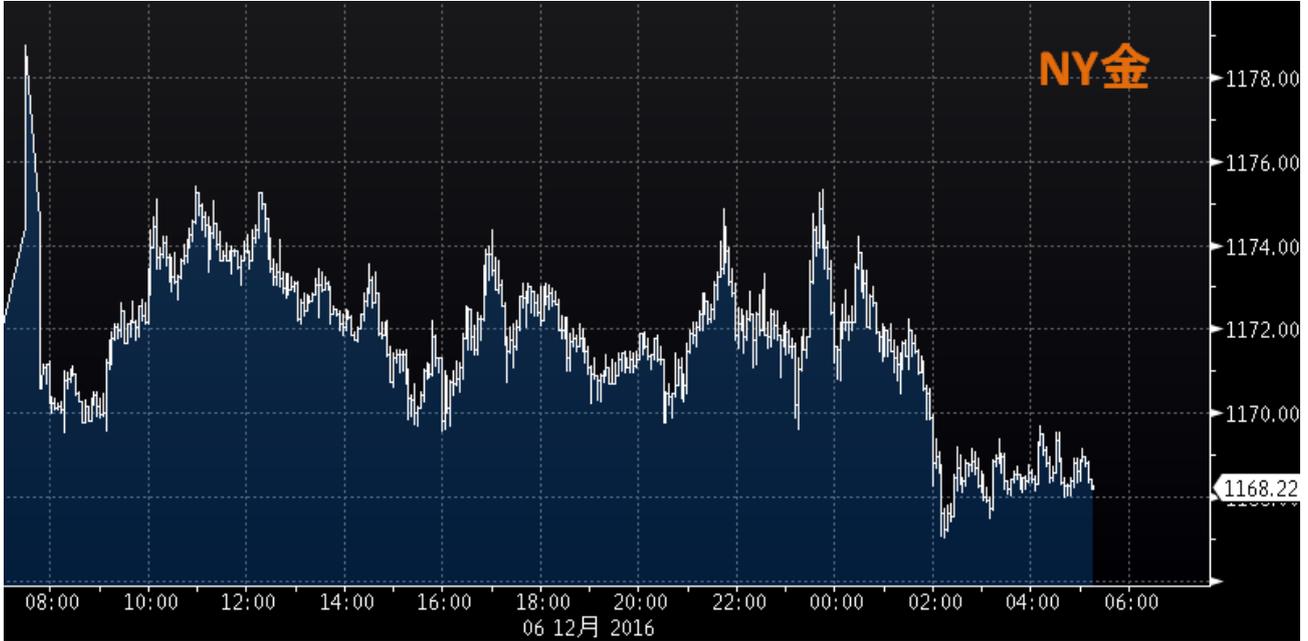


出所：Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 6.40 ドル安の 1 オンス=1170.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して上昇したため、ドルの代替資産とされる金の売りが優勢となった。また、FRB が来年以降、利上げのペースを加速させるとの警戒感も圧迫要因となった。

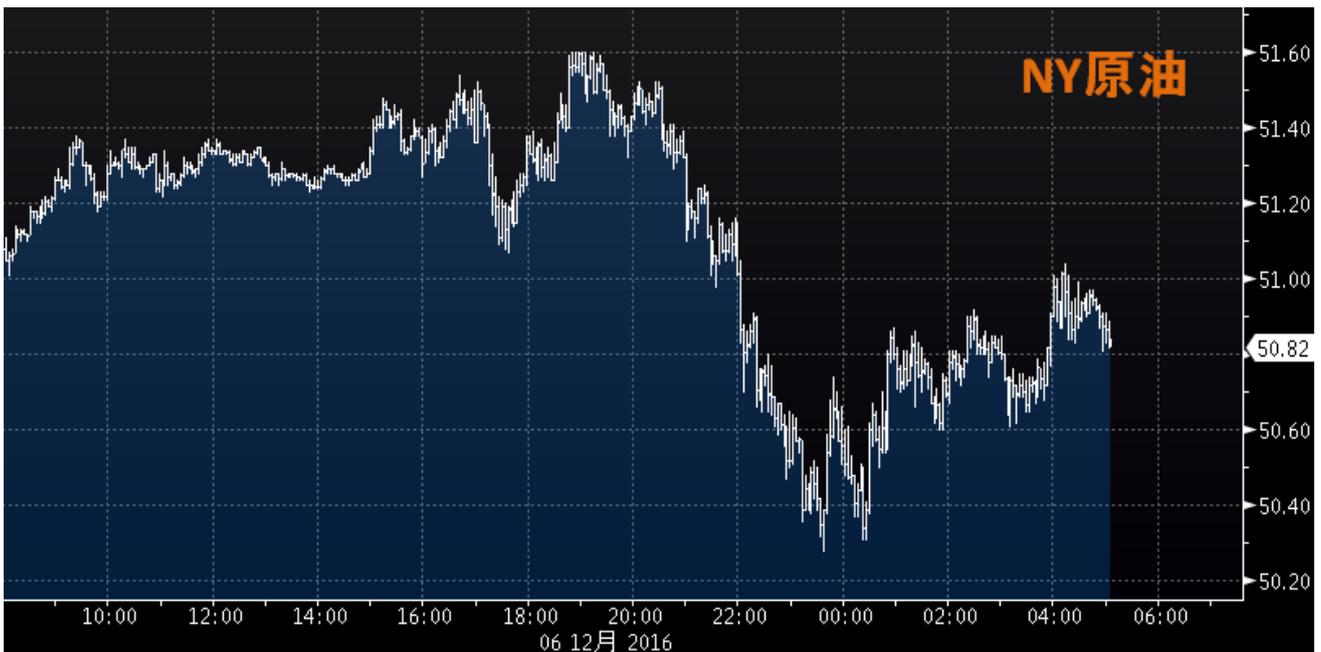


出所：Bloomberg

NY 原油は、中心限月が前日比 0.86 ドル安の 1 バレル=50.93 ドルで取引を終了した。

◀ NY 原油市場 ▶

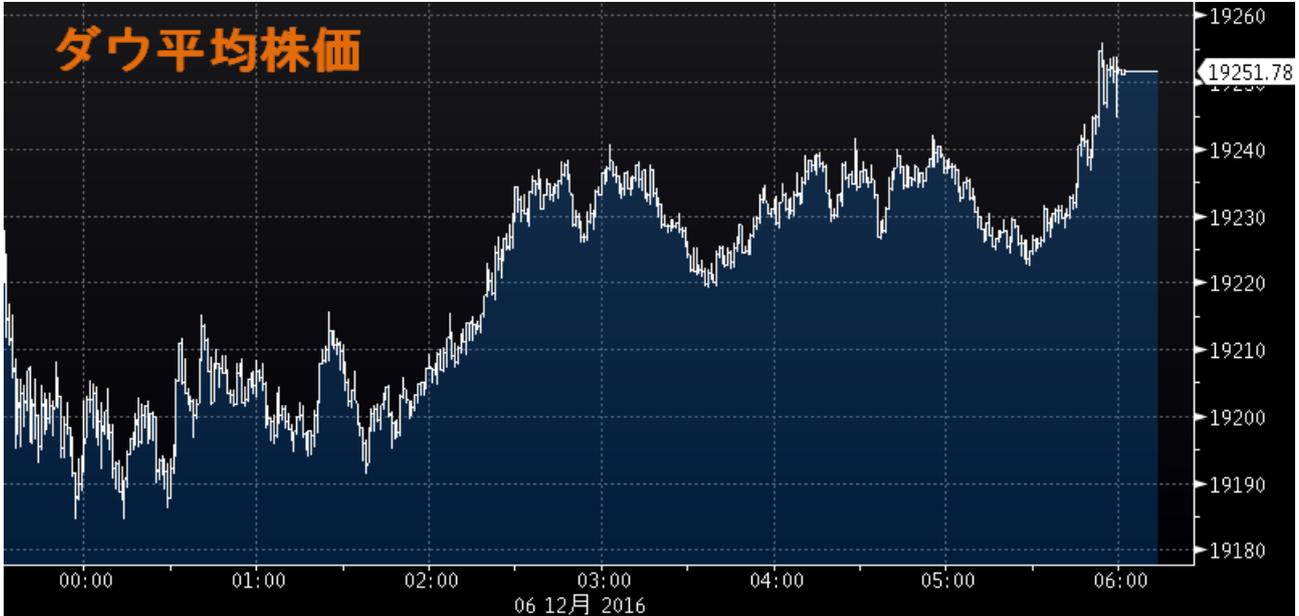
NY 原油は、OPEC の 11 月の産油量が増加したとの報道を受けて、加盟国が減産合意を順守できるか懐疑的な見方が広がり、売りが優勢となった。また、米エネルギー省エネルギー情報局が、短期エネルギー見通しで 2016 年と 2017 年の米原油の生産予測を引き上げたことも売り材料となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、日本や欧州の株価が堅調な動きとなったものの、原油価格が大きく下落したことが影響し、主要株価は序盤から軟調な動きとなった。ただ、その後は堅調な動きとなり、小幅高で引けた。ダウ平均株価は、序盤に前日比31ドル安まで下落したものの、終盤には39ドル高まで上昇する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が比較的堅調な結果となったことから、ドルは堅調な動きとなった。しかし、原油価格や序盤の米株価が軟調な動きとなったこともあり、限定的な動きとなった。その後は、米債券利回りが上昇したことを手掛かりにユーロとポンドは対ドルで軟調な動きとなり、対円でも上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。